

# 外国ルーツを持つ若者が 自ら進路を選べることを支える 官民一体となった仕組み構築事業

2024.4.25



## ■組織概要

団体名：NPO法人ひろしまNPOセンター  
代表者：代表理事 安藤周治、中村隆行  
所在地：広島市中区紙屋町1-6-1-303  
設立日：1997年9月13日

## 近年の主な事業

環境省 中国環境パートナーシップオフィス管理運営等業務  
広島市 子育てOS運営業務  
福山市 福山市まちづくりサポートセンター運営業務委託  
JICA 青年研修事業  
JANPIA 休眠預金等活用事業

## 2022年度収支報告

収入の部：267,653,405円  
支出の部：265,737,667円

## ■事業担当者

統括：松村渉（休眠プログラムオフィサー）  
事業責任者：増田勇希（タブマネ）  
事業担当者：鳥居彩、杉野紗央里、1名募集予定

## 業務委託

支援者：当事者や家族、教員等との現場を運営（5団体程度）  
広報評価：本事業における成果や課題の収集、分析、整理、  
発信（1団体程度）

## 専門家（予定）

ダイバーシティ研究所 代表 田村太郎氏  
広島湾資源ネットワーク 代表理事 胡子和子氏  
他2～3名予定

# ロジックモデル全体像

## 【中長期アウトカム】

広島県内に暮らす外国ルーツの若者が、自ら進路を定め、その実現に向けて取り組むことができている社会

### 【方針1：当事者】

ここでの当事者とは、外国ルーツの若者を中心に、その家族と学校・教員のことを指します。

#### ■短期アウトカム

##### ①外国ルーツの若者

外国にルーツをもつ若者が、日本語能力を身に着け、進路を定めるために必要な情報にアクセスできている状態。

##### ②当事者家族

当事者家族が日本の進路選択について正しく情報を得て、当事者の進路選択を応援できている状態。

##### ③当事者が通う学校教員

当事者が通う学校の教員（進路指導員、担任等）が、支援者と連携して十分な支援ができている状態。

### 【方針2：支援者】

ここでの支援者とは、当事者に対して寄り添い支援を行うNPO、日本語教師、ボランティア等のことを指します。

#### ■短期アウトカム

##### ①支援者ネットワーク構築

支援者（NPO、日本語教師、日本語学校、タブマネ、ボランティア等）ネットワークが構築され、参加者間のコミュニケーションを通じてともに問題に向かい合う仲間という意識を持っている。

##### ②支援者ノウハウの向上

ネットワークに参加している支援者が『同じ外国にルーツを持つ若者の進路選択に関する問題』に関連する情報を共有し、その支援に必要な学習等を通じて当事者支援ノウハウを身に着け成長している。

##### ③支援者組織基盤強化

支援者組織の組織基盤が整い、持続可能な運営ができている状態。

### 【方針3：仕組み】

ここでの仕組みとは、教育委員会等の公の組織を巻き込んだ協働による持続可能な構造のことを指します。

#### ■短期アウトカム

##### ①関係者ネットワーク構築

教育委員会、専門家、支援者等による関係者ネットワークが設置され、外国にルーツを持つ若者の進路選択に関する問題にアクセスできている状態

##### ②知見の共有

本事業における問題や課題、成果や取組等が可視化され、関係者に共有されている状態

##### ③支援者の拡大

潜在的な支援者に対する情報提供や育成・参加機会が提供され、新たな支援者が生まれている状態

- ✓ 本事業は、【方針1：当事者】に向けた現場の活動に加えて、【方針2：支援者】の支援と育成、【方針3：仕組み】教育委員会との協働の創出によって、中長期アウトカムの達成を目指します。
- ✓ 方針1については2023年度にかめのり財団の助成を得て実験的に事業を実施しており、本事業ではその知見を活用して、支援者を拡大していくことや仕組みの構築に取り組みます。



特定非営利活動法人

ひろしまNPOセンター

# ロジックモデル当事者

支援者に業務委託する活動

## 【短期アウトカム】

①外国ルーツの若者（当事者）

外国にルーツをもつ若者が、日本語能力を身に着け、進路を定めるために必要な情報にアクセスできている状態。

## 【短期アウトカム】

②当事者家族支援

当事者家族が日本の進路選択について正しく情報を得て、当事者の進路選択を応援できている状態。

## 【短期アウトカム】

③当事者が通う学校・教員支援

当事者が通う学校の教員（進路指導員、担任等）が、当事者も日本人と同じように支援できている状態。

## 【活動/アウトプット】

- 支援者による日本語教室の実施/90回以上実施
- 支援者による当事者へのカウンセリング、相談対応の実施/416回以上
- 支援者によるキャンパスツアーや企業訪問の実施/18回

## 【活動/アウトプット】

- 支援者による家族向け説明会の実施/9回実施
- 支援者による家族へのカウンセリング、相談対応の実施/280回以上

## 【活動/アウトプット】

- 支援者と学校の教員との情報・意見交換の実施/20回実施

## 【解決する課題】

- 当事者の日本語能力が不十分
- 進路に関する情報にアクセスできていない
- 相談相手がない

## 【解決する課題】

- 家族の日本語能力が不十分
- 進路に関する情報（奨学金や制度など経済的な面）にアクセスできていない
- 相談相手がない

## 【解決する課題】

- 外国ルーツの若者支援に関する情報がない
- 当事者や家族とコミュニケーションが取れない（時間がない、言葉が通じない等）
- 支援者との連携がない

- ✓ 当事者や家族について、言語の問題は避けて通れない。日本語能力の不足から意思疎通を図れなかったり、学校からの書類連絡等も伝わらず、進路・支援情報にアクセスできていない。
- ✓ 学校・教員も取り組んでいるが、専門性が無いことや業務多忙から十分な支援ができていない。外部支援者の介入を希望するケースもあるが、誰に相談していいかわからない、予算がないといった状況にある。逆に、外部支援者の介入を求めない学校・教員もいる。
- ✓ 災害や福祉のケースマネジメントと同様に、本当に困っている人に支援を届けるには、制度や仕組み、マスに向けた発信だけでは不十分であり、それを補完するために**寄り添える支援者が必要**。

簡単に言いましたが、寄り添う支援者も大変。2. 支援者へ



特定非営利活動法人

ひろしまNPOセンター

# ロジックモデル支援者

## 【短期アウトカム】

①支援者ネットワークの構築  
支援者（NPO、日本語教師、日本語学校、タブマネ、ボランティア等）ネットワークが構築され、参加者間のコミュニケーションを通じてともに問題に向かい合う仲間という意識を持っている。

## 【短期アウトカム】

②支援者ノウハウの向上  
ネットワークに参加している支援者が『同じ外国にルーツを持つ若者の進路選択に関する問題』に関連する情報を共有し、その支援に必要な学習等を通じて当事者支援ノウハウを身に着け成長している。

## 【短期アウトカム】

③支援者組織基盤強化  
支援者組織の組織基盤が整い、持続可能な運営ができている状態。

## 【活動/アウトプット】

□ 事務局によるネットワーク参加者を対象とした交流や情報交換機会の実施/8回以上実施

## 【活動/アウトプット】

□ 事務局によるネットワーク参加者を対象とした勉強会の実施/8回以上実施  
□ 事務局によるネットワーク参加者を対象とした報告会の実施/1回以上

## 【活動/アウトプット】

□ 事務局による組織診断の実施/12回実施  
□ 事務局によるコンサルティングの実施/90回

## 【解決する課題】

□ 個人や単独組織での対応が多く、分野で力を合わせる状態にない  
□ 教育委員会等の公から対等な扱いを受けていない  
□ 学校に入れない

## 【解決する課題】

□ ノウハウや知見が俗人的になりがち  
□ 先進事例や成功事例などからの学びが十分でない  
□ 学校・教員との信頼関係構築が不十分

## 【解決する課題】

□ どのような組織体で活動するか定まっていない  
□ 様々な経営リソースが足りない  
□ いつまでできるか見通しが立たない

- ✓ 現状、日本語教師としてのみの契約はあるが、寄り添い方の支援者として教育委員会と公に連携している支援者はいない。
- ✓ 学校と連携している支援者はいるが、パーソナルな関係性からそのような状態になっており、他支援者が使えるノウハウになっていない。
- ✓ 学校に入りたくても、関係性がないケースが大半。あっても信頼不足から十分な連携ができていない。
- ✓ 支援者間のつながりはあるが、知り合いや同業者といった位置づけにとどまっており、集団としての力を発揮できていない状況にある。
- ✓ 支援者の数が増え、信頼が高まらないと、ニーズのあるすべての学校に入ることはできない。学校に入るためには支援者側の取組だけではなく、**教育委員会との協働が必要**。



特定非営利活動法人

ひろしまNPOセンター

# ロジックモデル仕組み

広報評価として  
業務委託する活動

## 【短期アウトカム】

- ①関係者ネットワークの構築  
行政、専門家、支援者等による関係者ネットワークが設置され、外国にルーツを持つ若者の進路選択に関する問題にアクセスできている状態

## 【短期アウトカム】

- ②知見の共有  
本事業における問題や課題、成果や取組等が可視化され、関係者に共有されている状態

## 【短期アウトカム】

- ③支援者の拡大  
潜在的な支援者に対する情報提供や育成・参加機会が提供され、新たな支援者が生まれている状態

## 【活動/アウトプット】

- 事務局による関係者ネットワーク会議の実施/5回

## 【活動/アウトプット】

- 情報収集・分析・整理・発信を担う広報評価チーム立ち上げの実施/5回程度
- 広報評価チームによる情報収集・分析・整理・発信の実施/30回以上

## 【活動/アウトプット】

- 事務局人材の雇用に向けた求人事務と面談の実施/サイト登録1件、5名面接
- 関係者ネットワーク参加者の持つネットワーク等を活用した広報活動の実施/5回
- 説明会等を通じて参加を希望する潜在的な支援者に対する個別コンサルティングの実施/25回

## 【解決する課題】

- 関係者間で問題構造や現状を共有できていない
- 情報共有するためのチャネルがない

## 【解決する課題】

- 問題構造を関係者が共有するための手段や方法がない
- 問題構造を関係者が理解し納得できる説明ができていない
- 関係者に情報が届いていない

## 【解決する課題】

- 絶対的に支援者が不足している
- 支援者としての役割が可視化されていない
- 支援者になりたくても、導線が整備されていない

- ✓ 広報評価は、教育委員会と支援者を巻き込むための手段として想定。社会に向けた発信は協働が成った先に想定。
- ✓ 日本語教師や多文化共生系のボランティア等は一定数いるが、協働の担い手と言える支援者がどの程度いるか不透明。



特定非営利活動法人

ひろしまNPOセンター

# ステークホルダーマップ

